

課題対応取組報告書

【共通】

名称	此花区南西部地域包括支援センター
提出日	令和 7 年 6 月 20 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 社会資源の創設 (居場所づくり等) <input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	認知症高齢者の早期発見・早期支援のための『気にかける地域づくり』の推進	
地域ケア会議から 見えてきた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ネットワークの構築と共に、認知症高齢者の早期発見と支援を促進する「気にかける地域づくり」の推進。 ・認知症支援に関する担い手の確保と、支援活動の場の提供の促進。 	
対象	町会関係者・民生児童委員、ボランティア、地域住民、専門職、行政関係者	
地域特性	区内人口約65,000人。大阪万博を前に地域活性化を図る取り組みは行われているが、医療介護分野への波及は薄い。昼夜間人口比率は126.5% (2020年国勢調査) と高いが化学工場や臨海工業地帯への流入人口が多いため、地域内は人通りが少なく、地域での見守り体制が行き届いているとは言い難い。公営団地の老朽化による住環境問題・建て替えの一時転居によるリノベーションダメージなど独居・高齢化・孤立化など認知機能低下へのリスクや懸念が顕著である。	
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の認知症への理解と関心を高め、早期発見・早期支援のための地域ネットワークを構築する。 ・認知症高齢者やその家族が安心して地域で生活できる支援体制を整える。 ・認知症支援に関する担い手を確保し、地域の支援活動を推進する。 	
活動内容 (具体的取組)	<p>(1) 認知症声かけ訓練の実施 事前勉強会及び声かけ模擬訓練を地域の商店街を利用して実施。専門職が認知症役になり、実際に地域内で遭遇することを想定した声かけ訓練となった。地域住民の他、医療介護の専門職、警察などにも協力を得ることができた。</p> <p>(2) 認知症地域課題抽出にかかるアンケート調査の実施 次年度以降の取り組みに活用するため、関係機関向けにWEBアンケートを実施。約90名のアンケート回収、内容をまとめ、ネットワーク会議等で共有した。</p>	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	<p>参加者へのアンケートにより認知症声かけ訓練が、以下のような様々な場面で役立つと感じていることが分かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動への参加促進 ・日常生活における認知症の方への対応 ・個人的な課題解決 <p>訓練を通して、認知症の方への支援には地域住民同士の連携が重要であることを認識し、地域活動への参加意欲が高まった。また、日常生活においても、認知症の方だけでなく、困っている人へ積極的に声をかけるようになるなど、訓練が参加者の意識改革に繋がった。</p> <p>調査により、此花区における認知症に関する地域課題を抽出することができ、今後の認知症施策の企画・立案に資する貴重なデータを得ることができた。特に、家族介護の負担の大きさ、認知症ケアサービスの質向上と量拡大、専門職の人材不足、認知症への理解不足、相談体制の不備といった課題が明らかになったことは、今後の施策立案において重要な示唆を与えるものとなった。</p>	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●個人の意識を、多世代で支え合う「仕組み」へ 声かけ訓練で育まれた「住民連携が重要」という意識を、調査で明らかになった「家族介護の負担」といった課題の解決に繋げることが急務である。個人の善意に留めず、多世代が連携して支え合う実質的な「仕組み」の構築が必要である。 ●住民の「受援力」を高め、地域全体の「自分ごと」へ 誰もが安心して助けを求められる「受援力」を育み、認知症を地域全体の「自分ごと」として捉えてもらうことが重要である。そのために、SNSによる情報発信や若年性認知症への対応など、多様な世代の問題に合わせたアプローチの多角的な展開が求められる。 ●課題の「見える化」から、多機関協働による「解決」へ 調査で「見える化」した相談体制の不備やサービス不足といった専門的課題に対し、多機関・多職種が協働して解決にあたる実質的な体制を強化することが求められる。 	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和 7 年 7 月 11 日 (金)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性・拡張性 <input checked="" type="checkbox"/> 専門性 <input checked="" type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目 (特性) についてのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・区特有の課題に地域の実情に即して、長期的な計画を地域住民や行政、専門職などと連携して取り組んでいる。また座学だけでなく訓練を実施することで対応力を向上するという独自視点で、専門的な手法を用いて取り組んでいる。(地域性、継続性、浸透性・拡張性、専門性、独自性) ・住民、多職種ともに成長できる活動をしている。 ・地域性の強さを特に感じた。(地域性) ・認知症声かけ訓練を地区で順番に開催し認知症啓発に努めている。(地域性、浸透性・拡張性) 	
* 今後の取組継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。		